

A 他チームの発表を聞いて

他チームの発表の中で、自分たちのチームにはない解決策を提案し、最も参考になったのは、1班だと感じた。1班の発表では、交通事故を減らすためにレインボーロードという取り組みを提案していた。事故を起こりやすい場所を光で示すことで、危険を事前に知らせるといった内容であった。従来の標識や注意喚起の看板とは異なり、視覚的に一目で危険を感じ取れる点が新しくユニークな発想で魅力を感じた。危険であることを文字や記号でなく、視覚的な刺激によって直感的に伝えようとしている点に興味深さを感じた。道路標識は見慣れてしまうと注意を向けにくくなる場合があるが、路面を光らせる仕組みであれば、自然と視線が向き、危険を意識するきっかけになると思う。また、夜間や雨天時など、視界が悪い状況でも光は目に入りやすく、ドライバーや歩行者が自然と目を向けることができるため、事故防止につながると感じた。色の使い分けや点灯時間を工夫することで、より実用的になるのではないかと感じた。交通事故という身近で重要な問題を、柔軟な発想で捉え直しており、聞き手に新たな視点を与える非常に印象的な発表だった。

B 地方都市における交通問題を総合的に解決するための自分の意見

自分たちのチームでは、公共交通における人手不足を最大の課題として捉え、少ない人員でも利便性を維持、向上できる運行体制の構築が必要であると考えた。運転手の人手不足による減便や路線廃止は、地方を中心に深刻化しており、免許返納者や車を持たない人にとって移動が困難な状況が生まれる。そのため私たちの班では、予約制、オンデマンド型交通の導入や、AIを活用した運行ルート最適化、配車アプリやキャッシュレス決済による効率化などを解決策として提案した。これらは、利用者の需要に応じて運行ルートや本数を柔軟に調整できるため、無駄な運行を減らし、限られて人手を有効的に活用できるという利点がある。また、運行管理や利用手続きの効率化を図ることも有効であると考えた。

これらの取り組みは、運行の無駄を減らし、ドライバーの負担軽減や労働環境の改善につながる可能性がある。長時間労働や不規則勤務、低賃金といった問題は、若者が交通業界を敬遠する要因となっており、柔軟な働き方の導入や待遇改善は人材確保の観点からも重要である。しかし、公共交通の維持には運行効率の向上だけでなく、安全性や利用者の安心感を高める視点でも重要である。そこで私たちの班の意見に加えて取り入れたいと考えたのが、レインボーロードという発想である。

レインボーロードの光を使って危険な場所を知らせる仕組みを公共交通施策の一環として導入することで、複数の面から効果が期待できる。第一に交通事故の抑制による安全性の向上である。事故が多発する交差点や見通しの悪い道路、夜間に危険が高まる場所を色や光で可視化することで、危険箇所を直感的に認識しやすくなる。

次に、ドライバーの心理的、身体的負担の軽減が期待できる点である。公共交通は一人ひとりの運転手にかかる責任が重くなり、精神的プレッシャーが増大しやすい。ここで、レインボーロードを導入することで運転時の緊張感が緩和され、安定した運転につながると思われる。これは、離職率の低下や長期的な人材定着にも寄与する可能性がある。

また、運行の安定化という点でも効果が期待できる。急ブレーキや急減速の減少は、タイヤの乱れや遅延の防止につながり、結果としてサービスの信頼性向上をもたらす。公共交通が時間通りに来る、安心して利用できることで、利用者の満足度は向上し、公共交通の利用促進にもつながると考える。

これらのことから、公共交通を支える人間とインフラが相互に補完し合う仕組みを実現し、運転手の負担に依存しすぎない運行体制を目指せると考える。また、公共交通を将来なくなる仕事ではなく、人と技術が協力して支え合える仕事として再定義し、若者が将来就きたいと感じられる業界へと転換することも重要なビジョンである。

一方で、このビジョンを実現するためには、いくつかの課題が残されている。まず、オンデマンド交通や AI システム、レインボーロードの導入には高額な初期コストがかかる点が課題である。特に地方自治体にとっては財政的負担が大きく、国や自治体による継続的な補助や支援制度の充実が不可欠である。また、配車アプリやデジタル技術を活用する際は、高齢者や IT 機器に不慣れな人への配慮も必要である。誰一人取り残さない仕組みづくりが求められる。さらに、レインボーロードの効果を十分に発揮するためには、地域住民や利用者への理解促進が不可欠であり、定着には時間がかかると考えられる。

このような課題を踏まえつつ、段階的な導入と継続的な改善を行うことで、本提案は公共交通が抱える人手不足、利便性、安全性といった総合的な面を解決する有効的な取り組みになると考える。